

平成 29 年度東日本大震災津波等からの復旧・復興対策に関する要望について

【要旨】

当協会から岩手県農林水産部長に対しまして、標記要望を平成 29 年 11 月 13 日（月）に行いましたので、ご報告します。

当協会からは、大井誠治会長の他、総勢 20 名の参加で県への要望活動（漁港等の復旧・復興の完遂についての他全 7 項目）を行い、紺野農林水産部長から要望項目ごとにコメントをいただくとともに、理事・監事出席者から、再度被災した際の災害復旧の考え方、県全体の水産業の振興や不漁の原因、防潮堤建設の遅れ、個別漁港の課題の話など活発な意見交換を行いました。

最後に紺野農林水産部長から、皆様の懸命な取組みに御礼申し上げる。引き続き皆様と一緒に頑張って頑張るので、よろしく願いする旨の話で終了しました。

1 紺野農林水産部長への要望（平成 29 年 11 月 13 日 11:00~12:00）

協会側出席者：大井会長のほか総勢 20 名（別紙参加者名簿のとおり）

県側出席者：紺野農林水産部長、佐藤副部長、水産・漁港技監など総勢 8 名

要望項目

- (1) 漁港等の復旧・整備の完遂について「継続」
- (2) 漁港漁場整備長期計画を踏まえた漁港等の整備について「継続」
- (3) 高波浪に対応できる漁港整備について「新規」
- (4) 漁港・漁村の総合的な津波からの安全対策について「継続」
- (5) 農山漁村地域整備交付金の予算の確保について「継続」
- (6) 海岸保全施設に係る維持管理費等に対する支援について「継続」
- (7) 漁港・漁場・漁村の早期復旧に向けた市町村への支援について「継続」

紺野農林水産部長から、要望項目ごとに次のコメントをいただいた。

- (1) について、市町村等と緊密に連携しながら、早期の復旧完了を目指します。
- (2) 〃、国の計画を踏まえながら、地域課題に対応した漁港等の整備を推進します。
- (3) 〃、設計波高を見直し防波堤等の改良強化を図り安全な漁港づくりに取り組みます。
- (4) 〃、漁協や市町村等と十分調整しながら、早期完了に向けて加速化します。
- (5) 〃、十分な交付金予算の確保に向けて、国に対して引き続き要望して参ります
- (6) 〃、関係部局及び市町村と連携しながら、国に対して引き続き要望して参ります。
- (7) 〃、国に要望しつつ市町村に対して技術的・事務的に継続して支援して参ります。

2 意見交換会

当協会理事・監事から台風第 10 号や低気圧の被害で再度被害を被った漁港の復旧の考え方、最近のサンマ、サケの不漁の話、県全体の水産業振興について、防潮堤の建設が遅れていること、個別漁港に係る船揚場や防波堤等の諸課題など活発な意見交換会の場となった。